

# 第6次草津市総合計画策定 転入者アンケート調査報告書

---

令和元年8月  
草津市



# 目次

## I 調査概要 ..... 3

- 1 調査の概要 ..... 3
  - (1) 調査目的 ..... 3
  - (2) 調査対象および調査方法 ..... 3
  - (3) 回収結果 ..... 3
  - (4) 調査内容 ..... 3
- 2 本調査報告書の基本的な事項 ..... 4
  - (1) 数値の基本的な取り扱いについて ..... 4
  - (2) 前回調査について ..... 4

## II 調査結果 ..... 7

- 1 回答者（世帯を代表される方）の属性 ..... 7
  - (1) 世帯主の年齢 ..... 7
  - (2) 世帯の型 ..... 8
- 2 転入について ..... 11
  - (1) 転入先の居住地区（小学校区） ..... 11
  - (2) 転入前の居住地 ..... 13
  - (3) 転入のきっかけ ..... 16
  - (4) 草津市以外の転入先の検討 ..... 18
- 3 定住意向について ..... 25
  - (1) 居住年数の意向 ..... 25
- 4 今後草津市への期待について ..... 27
  - (1) 草津市への期待の意向 ..... 27
- 5 調査結果のまとめ ..... 30

## III 自由記述一覧 ..... 35

- 1 自由記述について ..... 35
  - (1) これからの草津市のまちづくりについてのアイデア・意見など ..... 35

## IV 調査票 ..... 41



## I 調査概要

---



# I 調査概要

## 1 調査の概要

### (1) 調査目的

本調査は、令和2（2020）年度の「第5次草津市総合計画」計画期間終了を控え、令和3（2021）年度から令和14（2032）年度までを計画期間としたまちづくりの基本となる「第6次草津市総合計画」の策定に向けて、本市へ転入してきた方を対象に、転入のきっかけや本市への転入の決め手等の理由や市政に対する御意見等をお聞かせ頂くことで市民の皆様の声を総合計画策定のための基礎資料とするために実施しました。

### (2) 調査対象および調査方法

項目	内容
調査対象	草津市内への転入者
調査方法	窓口でアンケートを配布し、庁内に設置した回収箱にて回収
転入世帯数	873世帯（異動件数）
調査時期	令和元年5月13日～7月12日

### (3) 回収結果

配布数	873		
回収数	473	回収率	54.2%

※回収数：全回答が無回答の場合も含む。小数点以下第2位を四捨五入。

### (4) 調査内容

分野	内容
世帯情報	世帯主の年齢、世帯形態、同居者の状況、居住地区（小学校区）
転入前の住所	都道府県／市・区・町・村、海外
転入の理由	転入した最も大きなきっかけ
転入先の検討	本市以外の検討の有無、検討した市区町村
転入の決定	本市への転入の決め手となった主な理由
居住意向	今後の居住予定
期待内容	草津市に期待すること
自由記述	今後のまちづくりについてのアイデア・意見等

## 2 本調査報告書の基本的な事項

### (1) 数値の基本的な取り扱いについて

- ①比率は全て百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。したがって、それぞれの数字の合計が必ずしも100.0%にならない場合があります。
- ②基数となるべき実数(回答者数)は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。
- ③クロス集計表の表側(属性)は、「不明・無回答」を除いているため、各属性の実数と集計対象総数が一致しない場合があります。
- ④複数回答の設問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出しても良い設問であることから、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ⑤文中、グラフ中の選択肢の文言は、一部簡略化して表現している場合があります。
- ⑥調査対象者の属性は、調査票記入時点の年齢(2019年5月13日～7月12日現在)で集計してあります。

### (2) 前回調査について

前回アンケートは平成31年1月8日～平成31年2月28日の期間に本市に転入してきた671世帯のうち、回答が得られた181世帯の回答を集計したものです。



## II 調査結果

---



## II 調査結果

### 1 回答者（世帯を代表される方）の属性

#### (1) 世帯主の年齢

問1 世帯主様（世帯を代表される方）の年齢をお聞きします。  
あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。

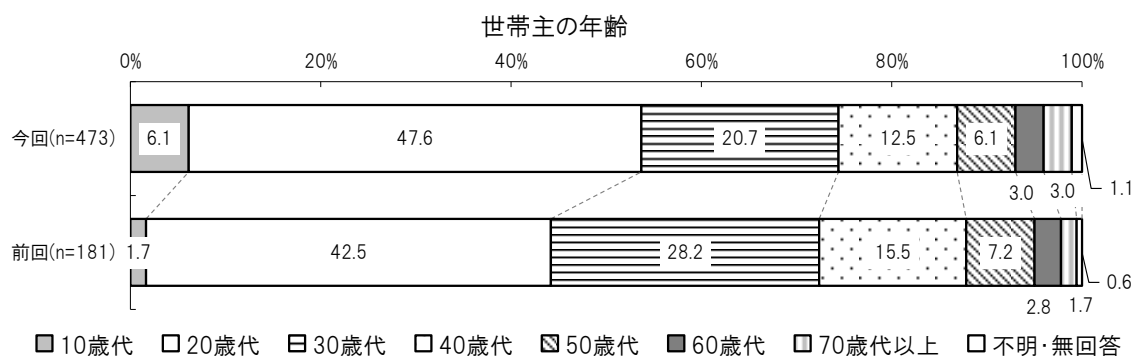
世帯主の年齢構成については、「20歳代」が47.6%と最も多く、次いで「30歳代」（20.7%）、「40歳代」（12.5%）、「50歳代」と「10歳代」（同率6.1%）、「60歳代」と「70歳代以上」（同率3.0%）の順となっています。

「10歳代」と「20歳代」を合わせると5割を超えており、若い世代の転入者が多い傾向にあります。

#### [前回調査との比較]

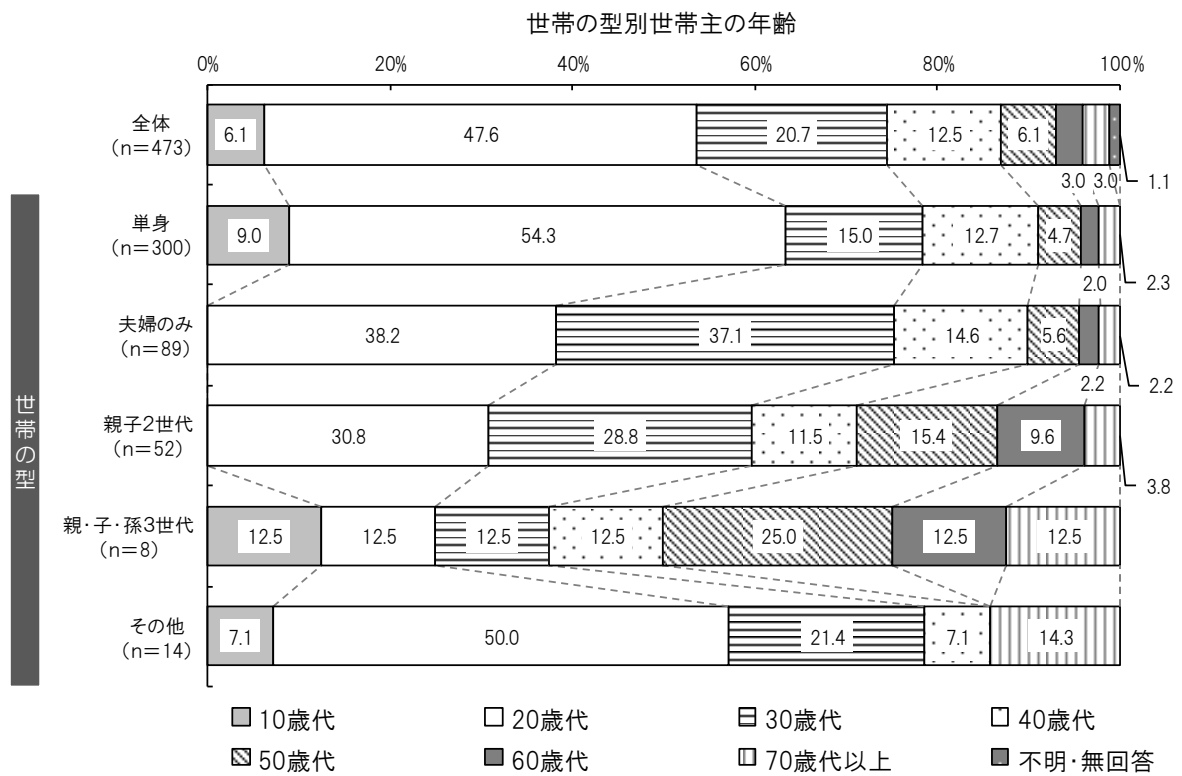
「30歳代」が7.5ポイント減少し、「10歳代」が4.4ポイント、「20歳代」が5.1ポイント増加しています。

若い世代の転入者が増加し、「30歳代」、「40歳代」の子育て世代が減少しています。



#### [世帯の型別世帯主の年齢]

「親・子・孫3世代」を除くすべての世帯で「20歳代」が最も多く、次いで「30歳代」となっています。「親・子・孫3世代」では「50歳代」が最も多くなっています。



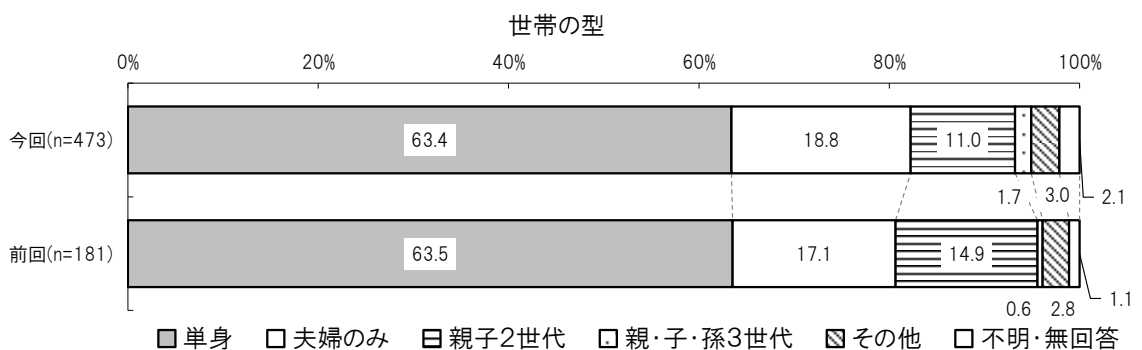
## (2) 世帯の型

問2 世帯の型は次のどれですか。  
あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。

世帯の型については、「単身」が63.4%と最も多く、次いで「夫婦のみ」(18.8%)、「親子2世代」(11.0%)、「親・子・孫3世代」(1.7%)の順となっています。  
単身者が多く6割を超えており、家族世帯は約3割となっています。

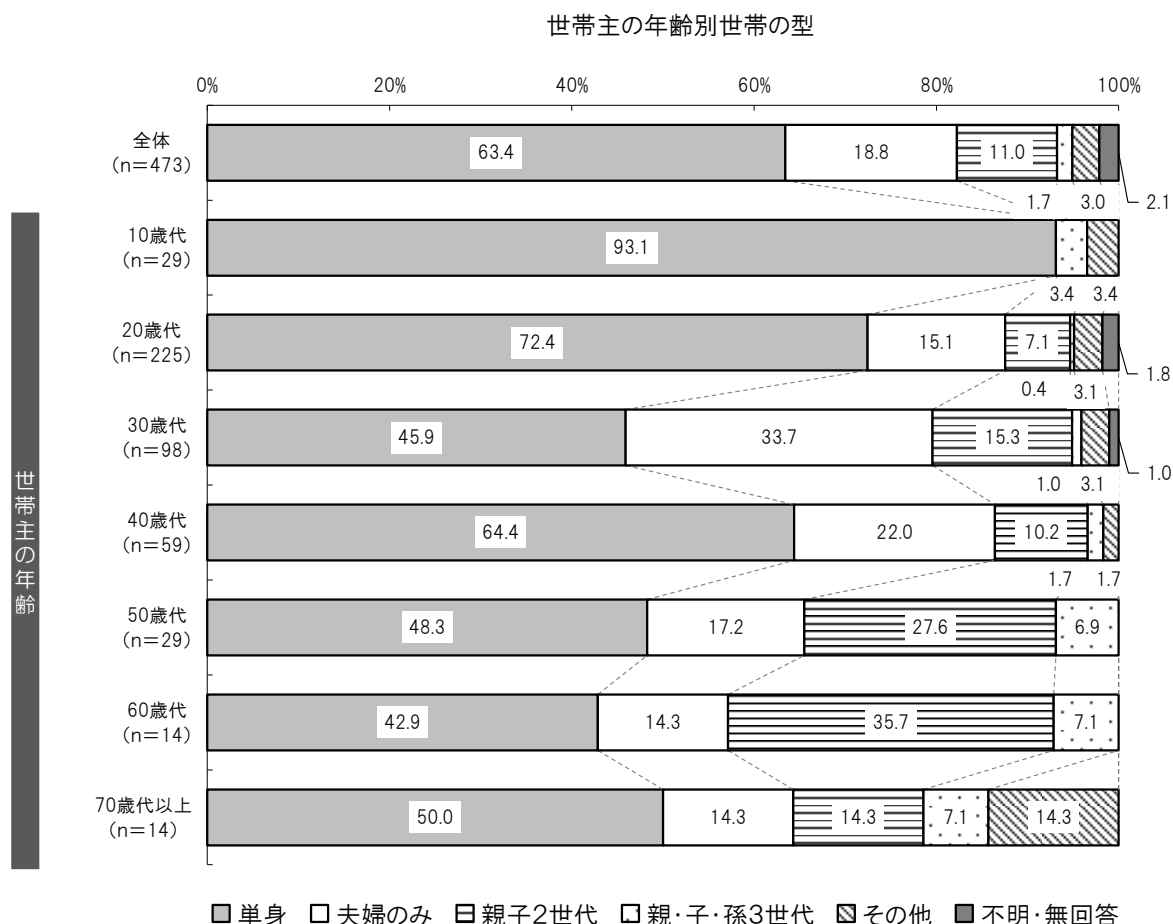
### [前回調査との比較]

「親子2世代」が9.3ポイント減少しています。



### [世帯主の年齢別世帯の型]

全体と同様にすべての年齢で「単身」が最も多くなっています。「10歳代」では「単身」が約9割を超えて最も多く、「60歳代」が約4割と最も低くなっています。



### ■「その他」の意見

同居人(2)
姉妹
同棲(2)
親、孫
祖父母、子

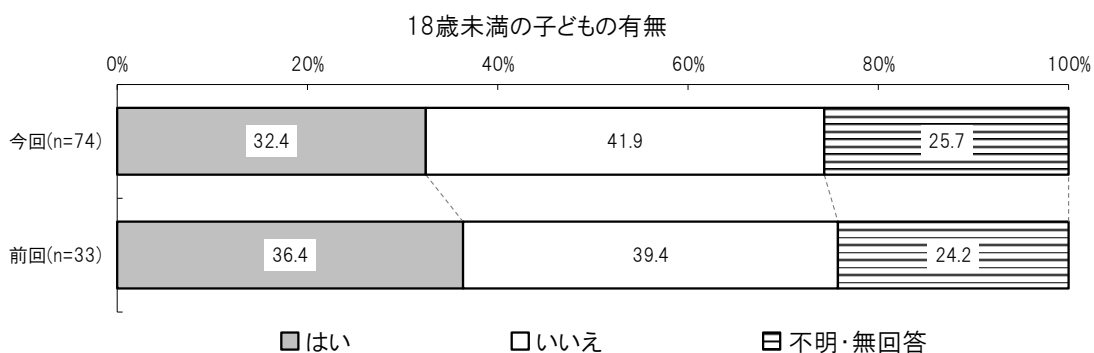
●問2で「3 親子2世代」、「4 親・子・孫3世代」、「5 その他」を回答した74人の方

問2付 同居している18歳未満の子ども、65歳以上の人の有無をお答えください。

同居している18歳未満の子どもの有無については、「はい」が32.4%、「いいえ」が41.9%となっています。

[前回調査との比較]

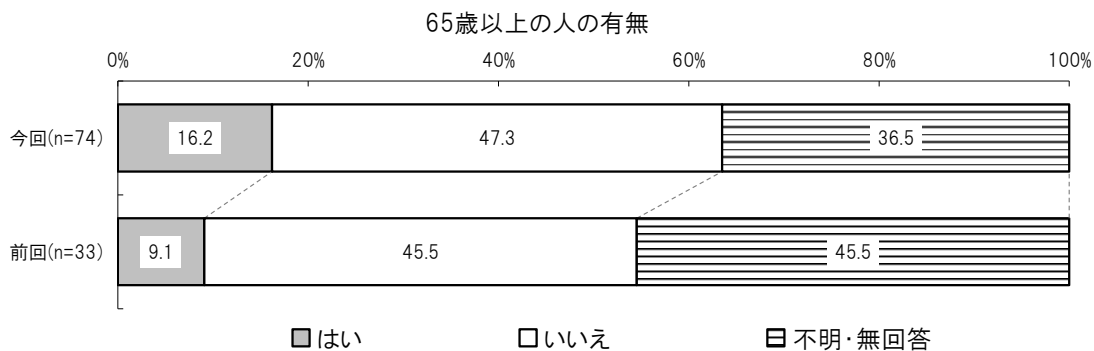
「はい」が4.0ポイント減少し、18歳未満の子どものいる世帯はやや減少しています。



同居している65歳以上の人の有無については、「はい」が16.2%、「いいえ」が47.3%となっています。

[前回調査との比較]

「はい」が7.1ポイント増加し、65歳以上の人のいる世帯は増加しています。



## 2 転入について

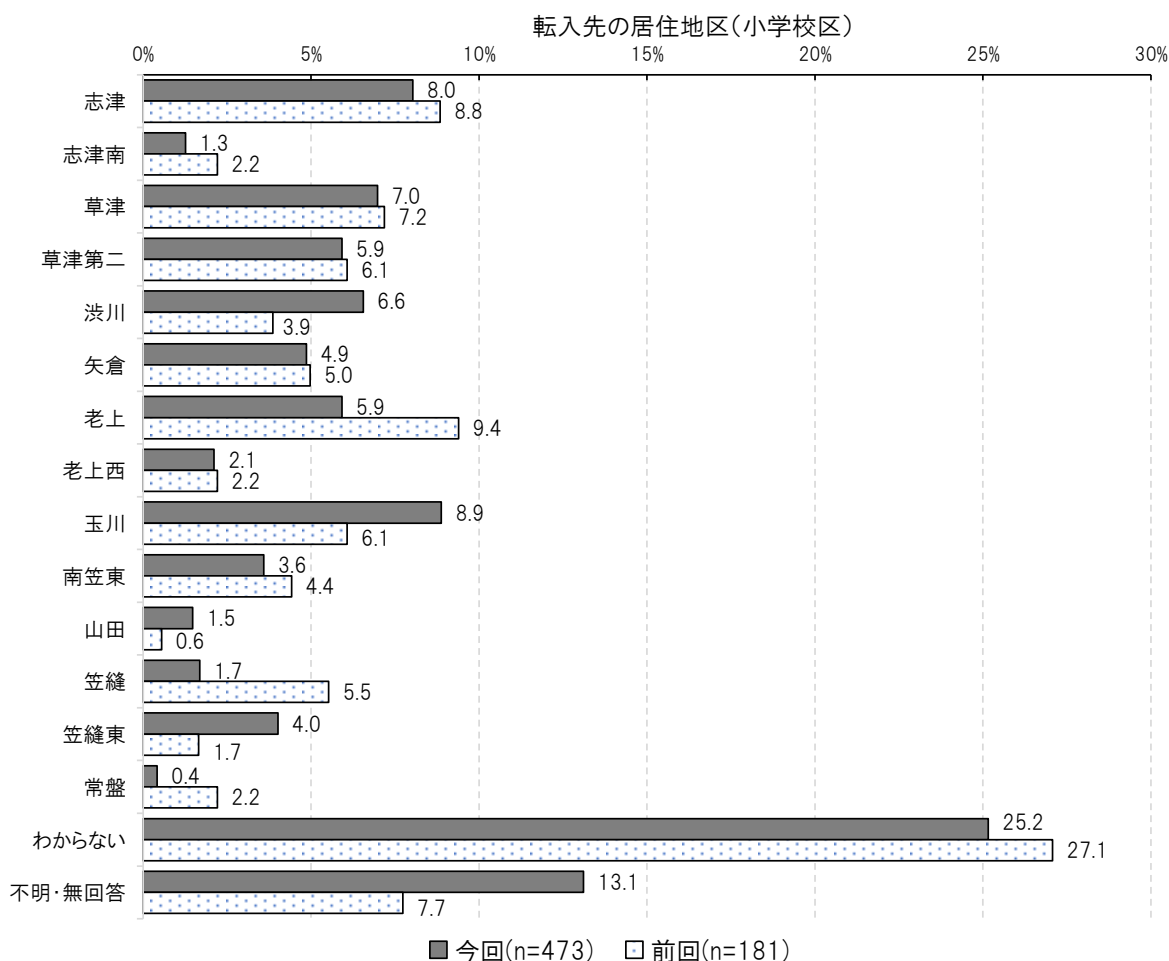
### (1) 転入先の居住地区（小学校区）

問3 お住まいのある小学校区はどちらですか。  
あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。

転入先の居住地区（小学校区）については、「わからない」が25.2%と最も多く、次いで「玉川小学校区」（8.9%）、「志津小学校区」（8.0%）、「草津小学校区」（7.0%）、「渋川小学校区」（6.6%）、「草津第二小学校区」と「老上小学校区」（同率5.9%）などの順となっています。

#### [前回調査との比較]

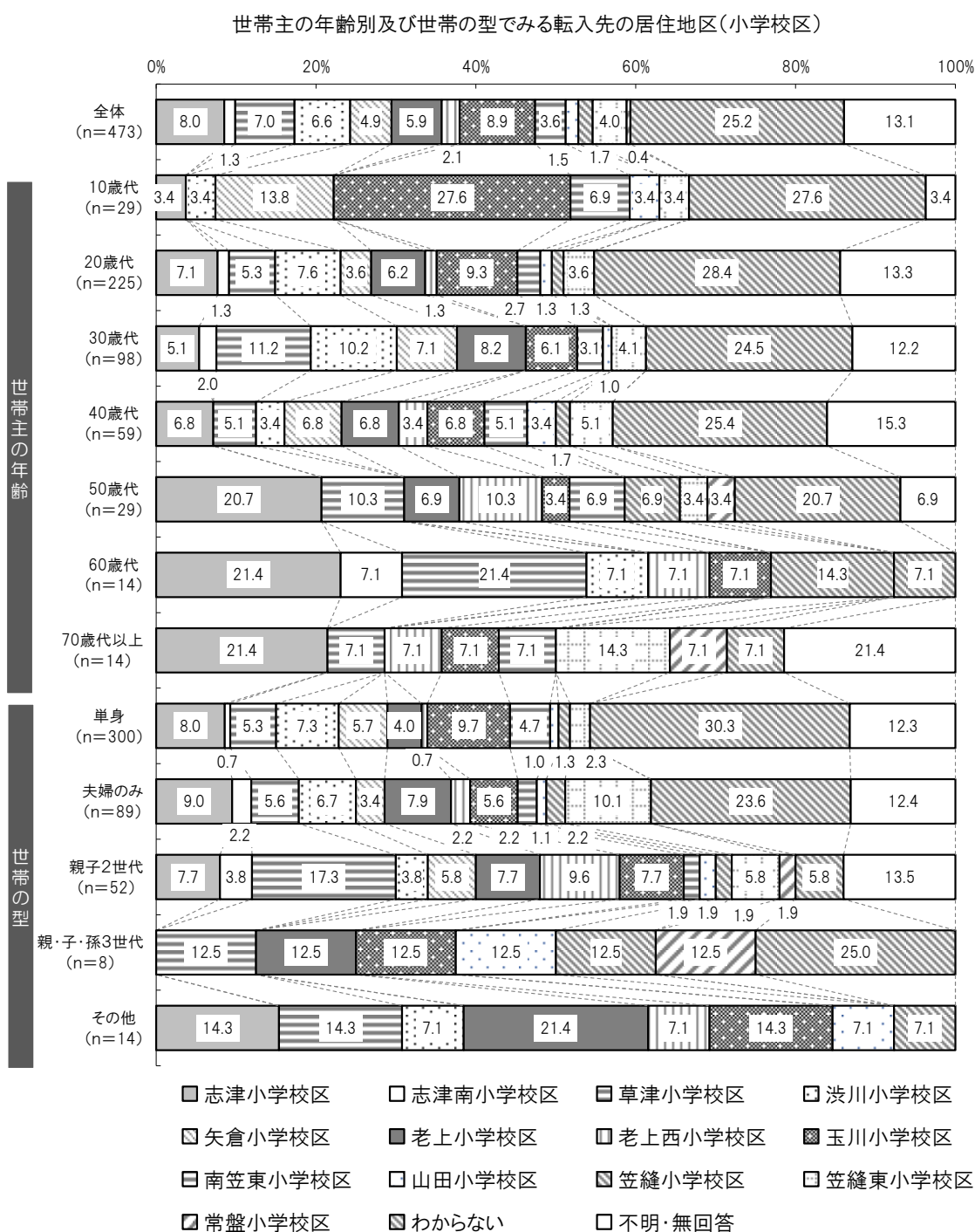
「玉川小学校区」が2.8ポイント、「渋川小学校区」が2.7ポイント増加し、「老上小学校区」が3.5ポイント、「笠縫小学校区」が3.8ポイント減少しています。



[世帯主の年齢別及び世帯の型でみる転入先の居住地区（小学校区）]

世帯主の年齢で見ると、「10歳代」から「40歳代」は全体と同様に「わからない」が最も多く、「50歳代」では「志津小学校区」と「わからない」（同率20.7%）、「60歳代」では「志津小学校区」と「草津小学校区」（同率21.4%）、「70歳代以上」では「志津小学校区」と「不明・無回答」（同率21.4%）が最も多くなっています。

世帯の型で見ると、「親子2世代」では「草津小学校区」（17.3%）、「その他」世帯の型では「老上小学校区」（21.4%）が最も多く、それ以外の世帯の型では「わからない」が最も多くなっています。





## (2) 転入前の居住地

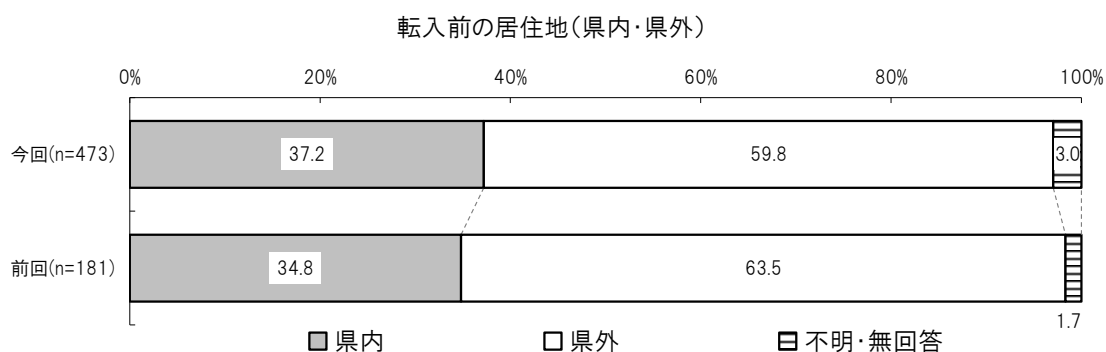
問4 草津市に転入する前はどちらにお住まいでしたか。

### [県内・県外でみる転入前の居住地]

転入前の居住地について県内か県外でみると、「県内」が37.2%、「県外」が59.8%と県外が多くなっています。

### [前回調査との比較]

「県内」が2.4ポイント増加し、「県外」が3.7ポイント減少しています。

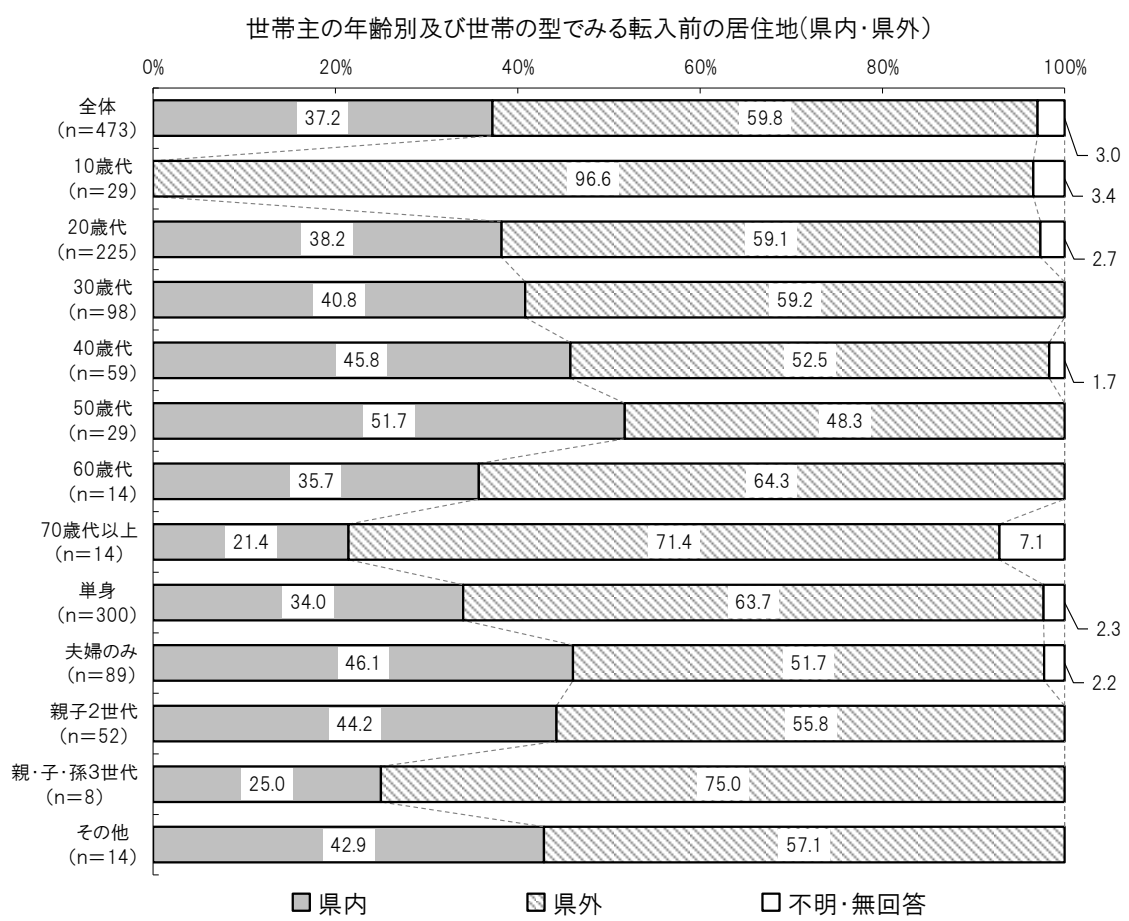


### [世帯主の年齢別及び世帯の型でみる転入前の居住地 (県内・県外)]

世帯主の年齢でみると、「50歳代」では「県内」(51.7%)が多くなっていますが、その他の年代では全体と同様に「県外」が多くなっています。また、「10歳代」は96.6%と最も多く、「60歳代」(64.3%)や「70歳代以上」(71.4%)も多くなっています。

世帯の型でみると、すべての世帯の型で全体と同様に「県外」が多いですが、特に「単身」(63.7%)が多くなっています。

世帯主の年齢  
世帯の型

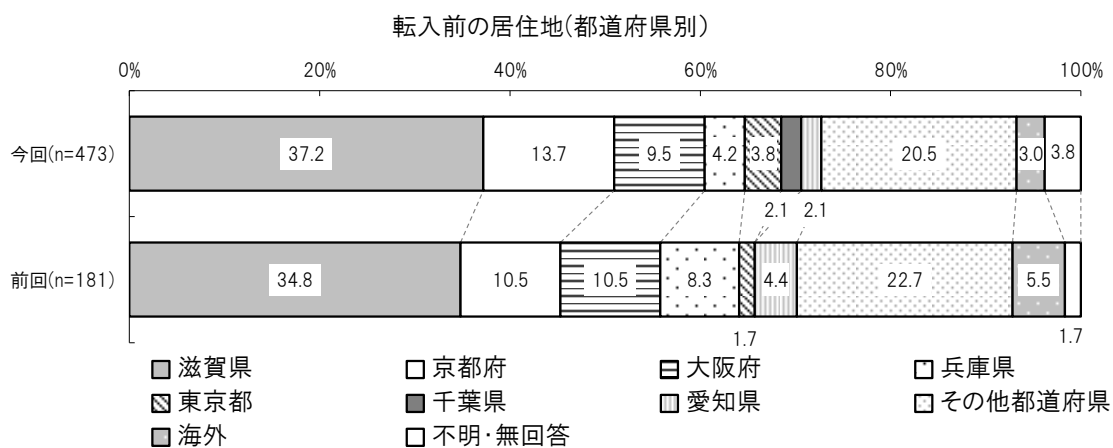


#### [都道府県別でみる転入前の居住地]

「滋賀県」が37.2%と最も多く、次いで「京都府」(13.7%)、「大阪府」(9.5%)、「兵庫県」(4.2%)、「東京都」(3.8%)などの順となっています。

#### [前回調査との比較]

「滋賀県」が2.4ポイント、「京都府」が3.2ポイント増加し、「兵庫県」が4.1ポイント減少しています。

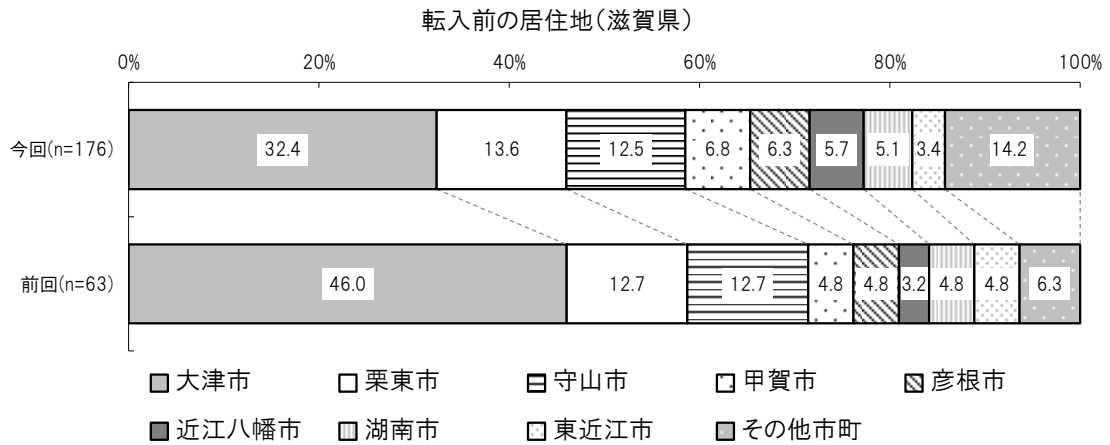


[滋賀県内でみる転入前の居住地]

「大津市」が32.4%と最も多く、次いで「栗東市」(13.6%)、「守山市」(12.5%)、「甲賀市」(6.8%)、「彦根市」(6.3%)などの順となっています。

[前回調査との比較]

「近江八幡市」が2.5ポイント増加し、「大津市」が13.6ポイント減少しています。前回は転入者の約半数が大津市からであったのに対して、今回は約3割と大きく減少しています。



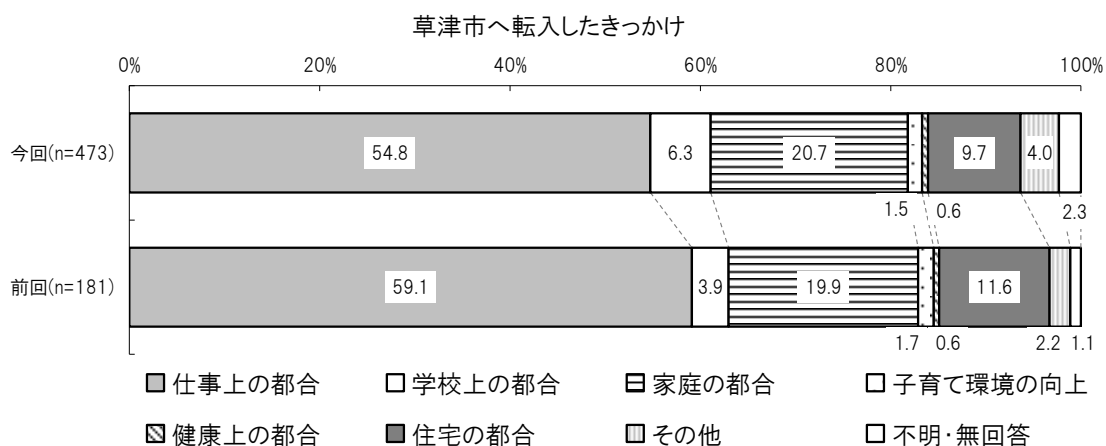
### (3) 転入のきっかけ

問5 草津市へ転入した最もおおきなきっかけは、どのようなことですか。  
あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

転入のおおきなきっかけについては、「仕事上の都合」が54.8%と最も多く、次いで「家庭の都合」(20.7%)、「住宅の都合」(9.7%)、「学校上の都合」(6.3%)などの順となっています。

#### [前回調査との比較]

「学校上の都合」が2.4ポイント増加し、「仕事上の都合」が4.3ポイント減少しています。



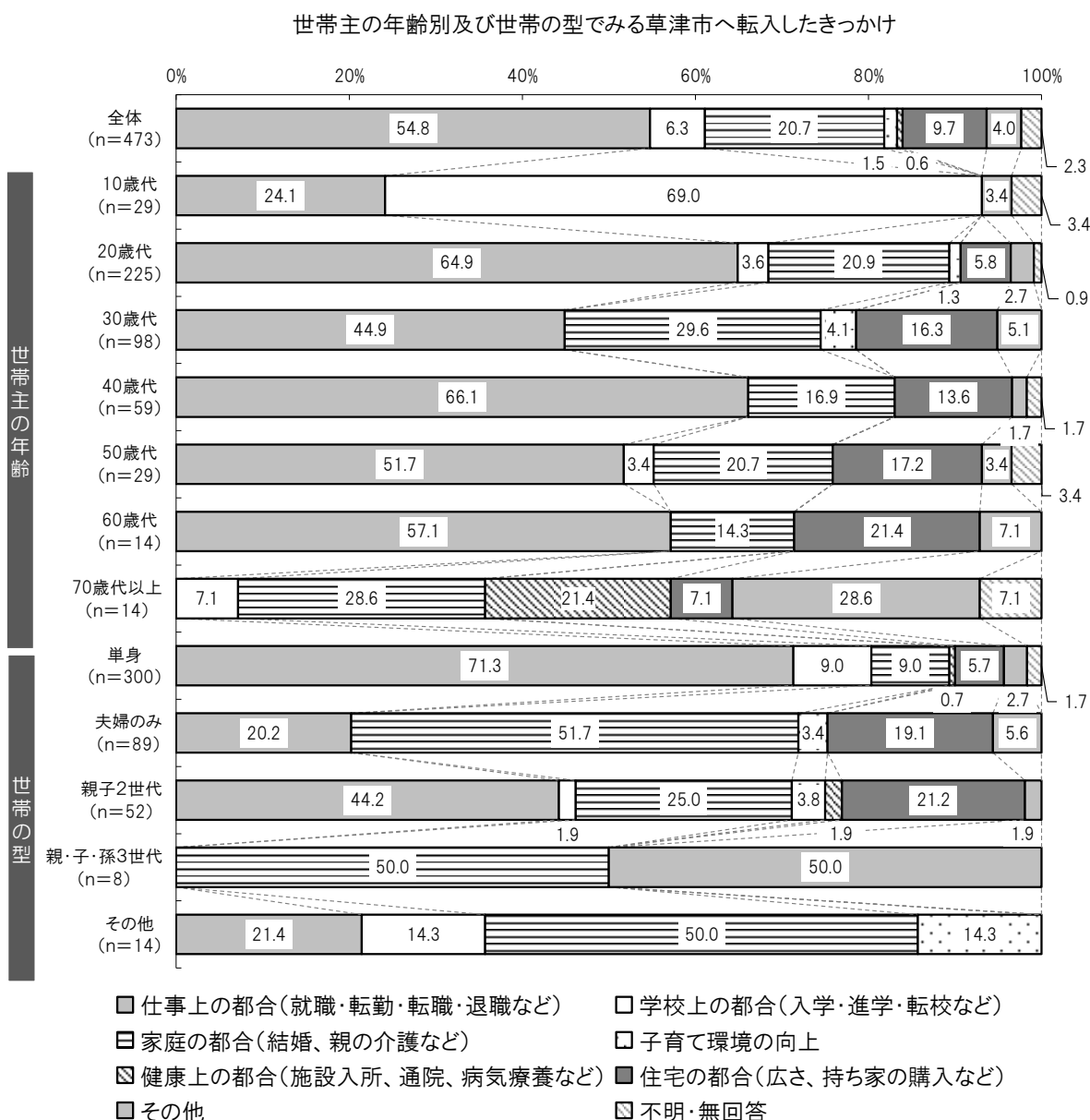
#### ■ 「その他」の意見

一人暮らしの為
気分転換
子どもの住居への近居
仕事の通勤簡略化および習い事へのアクセス簡略化
一度旅行に来た時に、良いところだと感じたから
兄
娘の近くに引っ越しました
関西方面に住んでみたかったので
子どもと同居の為
一時的
実家に戻ってきた
娘と同居する為
見つけたマンションが草津だった為
利便性

[世帯主の年齢別及び世帯の型でみる草津市に転入したきっかけ]

世帯主の年齢でみると、「10歳代」では「学校上の都合」(69.0%)、「70歳代以上」では「家庭の都合」と「その他」(同率28.6%)が多くなっています。その他の年代では全体と同様に「仕事上の都合」が多くなっており、「40歳代」(66.1%)が最も多く、「30歳代」(44.9%)が最も低くなっています。

世帯の型でみると、「単身」(71.3%)と「親子2世代」(44.2%)では「仕事上の都合」が多く、「夫婦のみ」(51.7%)、「親・子・孫3世代」(50.0%)では「家庭の都合」が最も多くなっています。



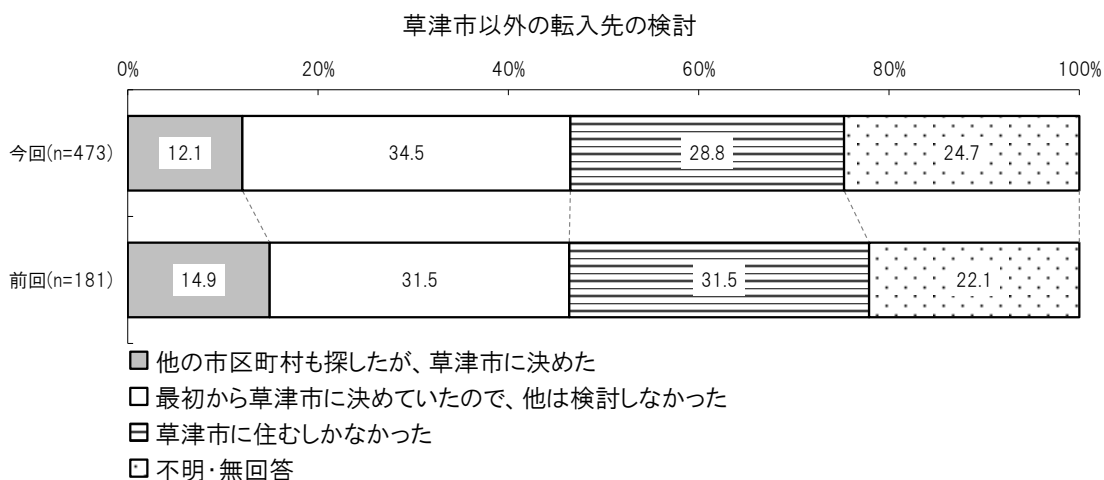
#### (4) 草津市以外の転入先の検討

問6 転入先として草津市以外の市・区・町・村も検討されましたか。  
 あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。  
 また、検討した市・区・町・村について御記入ください。

転入先の検討については、「最初から草津市に決めていたので、他は検討しなかった」が34.5%と最も多く、「草津市に住むしかなかった」(28.8%)、「他の市区町村も探したが、草津市に決めた」(12.1%)の順となっています。

#### [前回調査との比較]

「最初から草津市に決めていたので、他は検討しなかった」が3.0ポイント増加し、「他の市区町村も探したが、草津市に決めた」(2.8ポイント)と「草津市に住むしかなかった」(2.7ポイント)が減少しています。

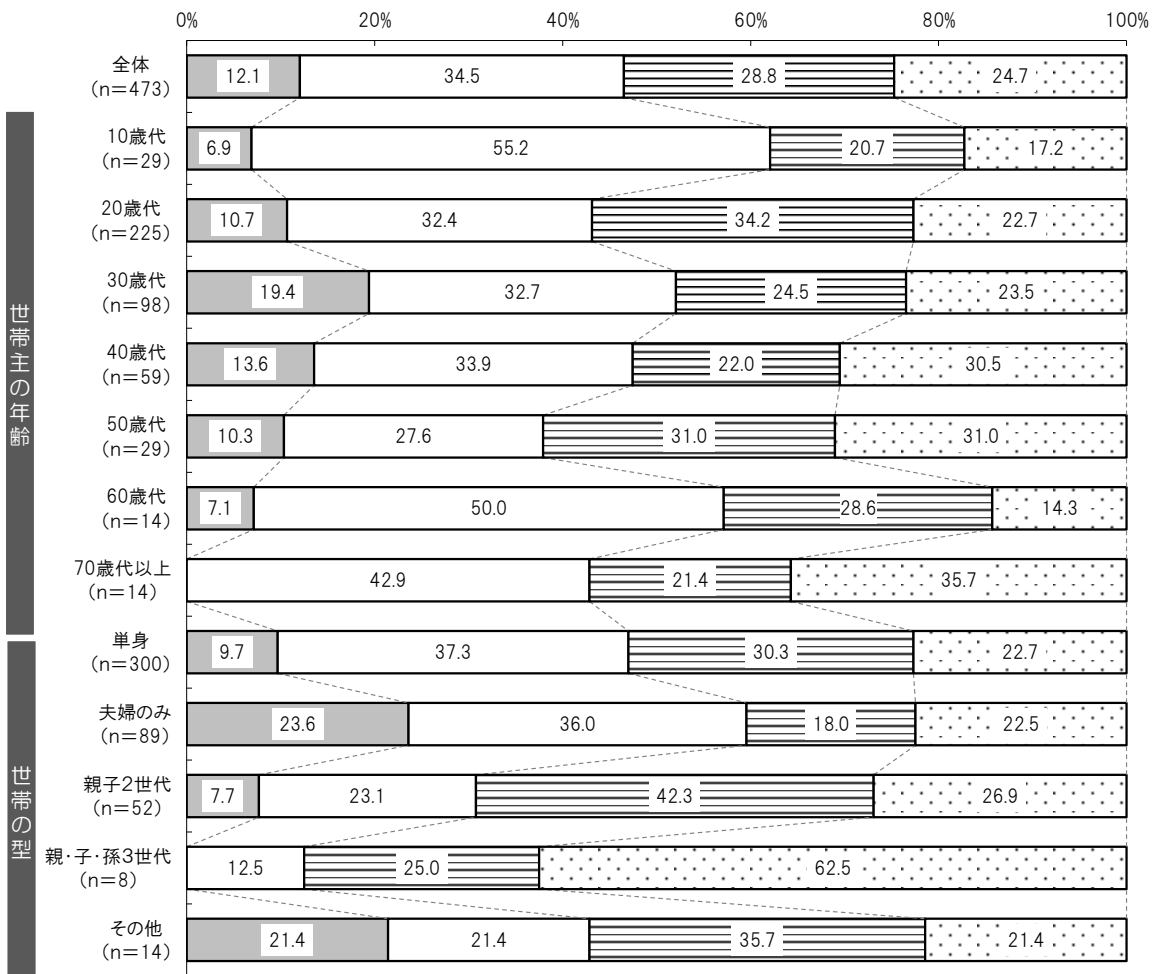


#### [世帯主の年齢別及び世帯の型でみる草津市以外の転入先の検討]

世帯主の年齢で見ると、「20歳代」と「50歳代」では「草津市に住むしかなかった」と選択の余地がない状況なのに対して、その他のすべての年代では「最初から草津市に決めていたので、他は検討しなかった」が多くなっています。ただし、「30歳代」は「他の市区町村も探したが、草津市に決めた」(19.4%)が他の年代よりも多くなっています。

世帯の型で見ると、「単身」と「夫婦のみ」では全体と同様に「最初から草津市に決めていたので、他は検討しなかった」が多く、その他の世帯の型では「草津市に住むしかなかった」が最も多くなっています。ただし、「夫婦のみ」は「他の市区町村も探したが、草津市に決めた」(23.6%)が他の年代よりも多くなっています。

世帯主の年齢別及び世帯の型でみる草津市以外の転入先の検討



- 他市区町村も探したが、草津市に決めた
- 最初から草津市に決めていたので、他は検討しなかった
- 草津市に住むしかなかった
- 不明・無回答

●問6で「1 他の市区町村も探したが、草津市に決めた」を選択した57人の方

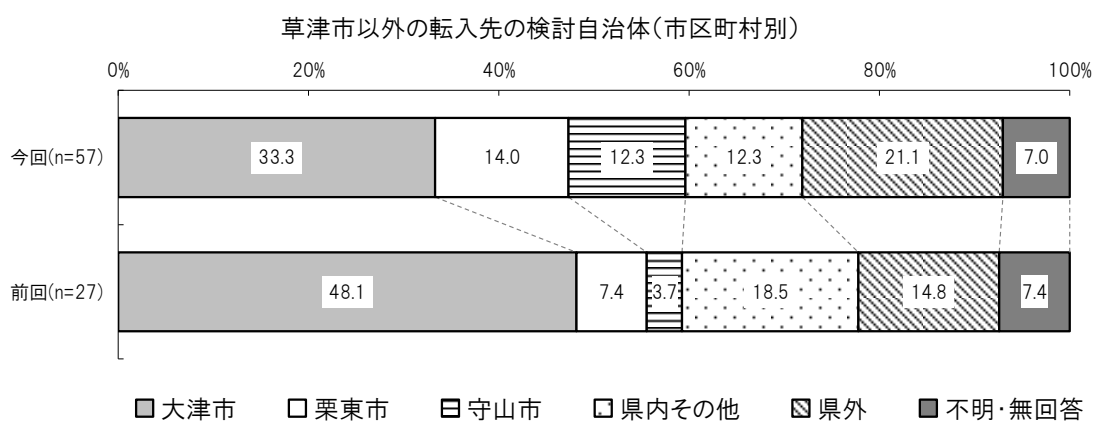
問6付 検討した市・区・町・村について御記入ください。

[草津市以外で検討した市区町村]

「大津市」が33.3%と最も多く、「県外」(21.1%)、「栗東市」(14.0%)、「守山市」(12.3%)、「県内その他」(12.3%)の順となっています。

[前回調査との比較]

「栗東市」(6.6ポイント)と「守山市」(8.6ポイント)が増加し、「大津市」が14.8ポイント減少しています。



[都道府県別でみる草津市以外の転入先の検討自治体]

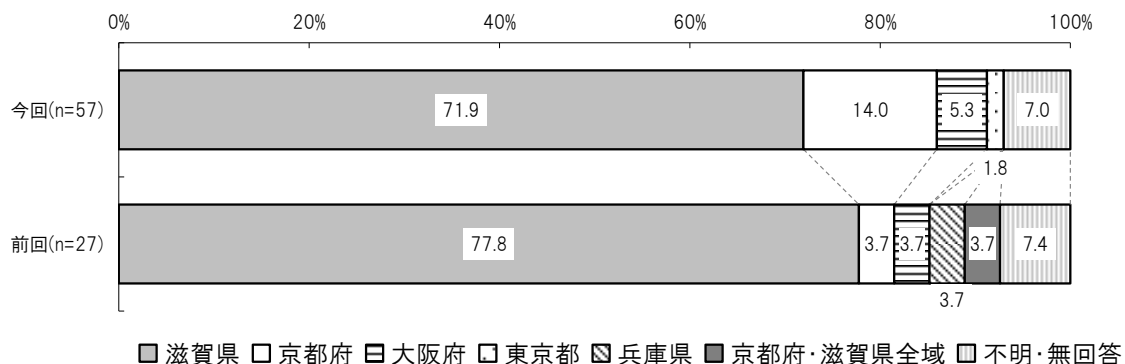
「滋賀県」が71.9%と最も多く、次いで「京都府」(14.0%)、「大阪府」(5.3%)、「東京都」(1.8%)の順となっています。

[前回調査との比較]

「滋賀県」が5.9ポイント減少し、「京都府」が10.3ポイント増加しています。



草津市以外の転入先の検討自治体(都道府県別)



今回	検討自治体	件数
滋賀県		41
	大津市	19
	栗東市	8
	守山市	7
	近江八幡市	3
	湖南市	1
	野洲市	1
	その他	2
京都府	京都市	5
	京都府内	3
大阪府	茨木市	1
	大阪市	2
東京都	世田谷区	1
不明・無回答		4
合計		57

前回	検討自治体	件数
滋賀県		21
	大津市	13
	栗東市	1
	守山市	2
	長浜市	1
	彦根市	1
	県内全域	3
	京都府	京都市
大阪府	高槻市	1
兵庫県	篠山市	1
京都府・滋賀県全域		1
不明・無回答		2
合計		27

●問6で「1 他の市区町村も探したが、草津市に決めた」「2 最初から草津市に決めていたので、他は検討しなかった」を回答した220人の方

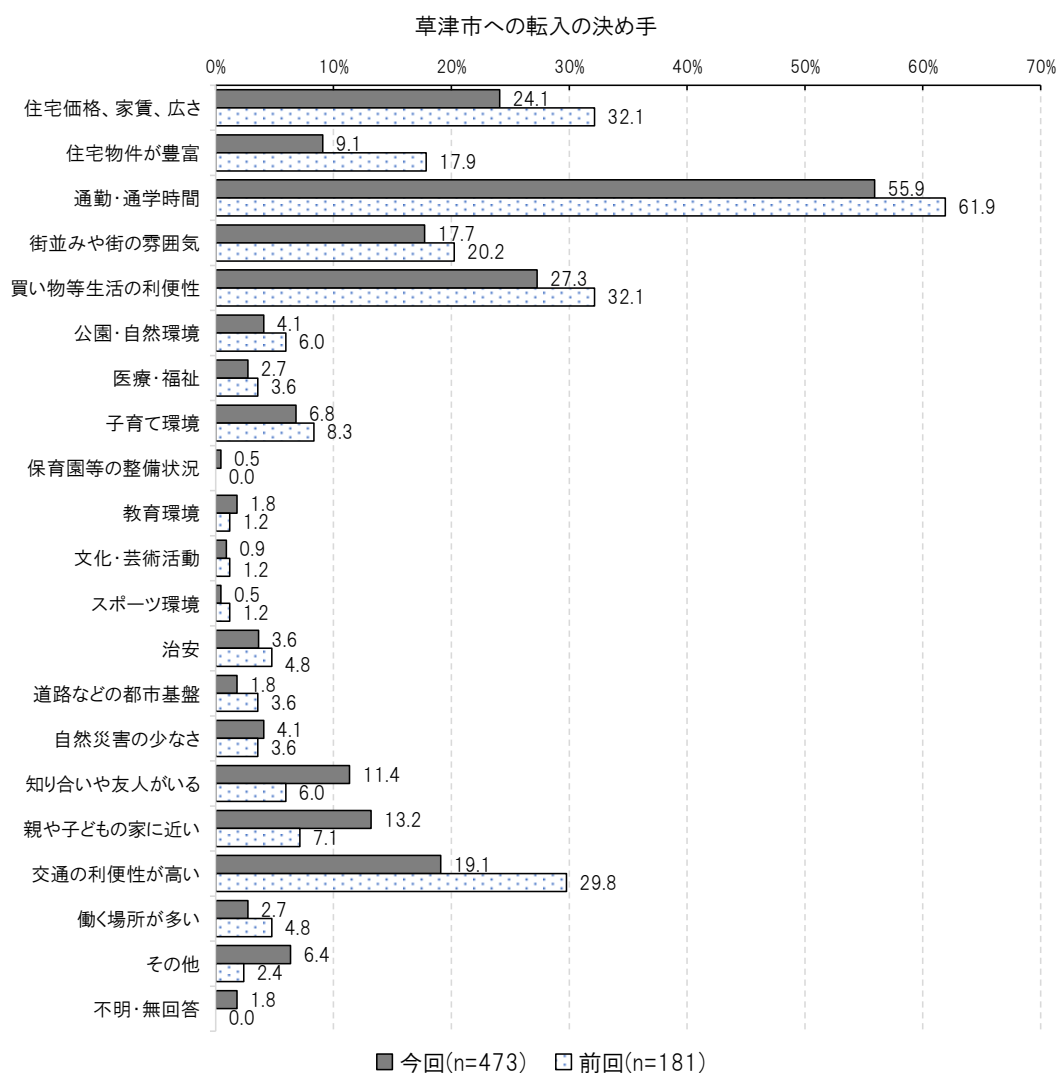
問7 草津市への転入の決め手はどのようなことですか。  
あてはまるものをすべて選んで番号に○印をつけてください。

転入の決め手については、「通勤・通学時間」が55.9%と最も多く、次いで「買い物等生活の利便性」(27.3%)、「住宅価格、家賃、広さ」(24.1%)、「交通の利便性が高い」(19.1%)、「街並みや街の雰囲気」(17.7%)、「親や子どもの家に近い」(13.2%)、「知り合いや友人がいる」(11.4%)などの順となっています。

### [前回調査との比較]

上位5位までは同じ項目ですが、どれもポイントはやや減少しており、特に「交通の利便性が高い」(10.7ポイント)と「住宅価格、家賃、広さ」(8.0ポイント)が顕著です。

一方「親や子どもの家に近い」(6.1ポイント)と「知り合いや友人がいる」(5.4ポイント)が増加しています。



■ 「その他」の意見

仕事(職場)の都合(4)
会社の社宅(3)
以前にも住んでいたことがあるから
緑が多いから
もともと自宅があるから
自宅がある
妻の地元を優先
合う物件が草津だった

[世帯主の年齢別及び世帯の型でみる草津市への転入の決め手]

世帯主の年齢で見ると、「10歳代」から「50歳代」まででは、全体と同様に「通勤・通学時間」が最も多く、「60歳代」では「知り合いや友人がいる」、「70歳代以上」では「親や子どもの家に近い」が最も多くなっています。また、通勤・通学をしている世代は利便性を求め、高齢者は安心を求める傾向があります。

世帯の型で見ると、「単身」、「夫婦のみ」、「親子2世代」では全体と同様に「通勤・通学時間」が多くなっており、「親子2世代」は「親や子どもの家に近い」も多くなっています。

世帯主の年齢別及び世帯の型でみる草津市への転入の決め手【上位5位】

(単位:%)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 (n=220)		通勤・通学時間 55.9	買い物等生活の 利便性 27.3	住宅価格、家 賃、広さ 24.1	交通の利便性が 高い 19.1	街並みや街の雰 囲気 17.7
世帯主の 年齢	10歳代 (n=18)	通勤・通学時間 83.3	街並みや街の雰 囲気 16.7	買い物等生活の 利便性 11.1	住宅物件が豊富 5.6	住宅価格、家 賃、広さ
	20歳代 (n=97)	通勤・通学時間 52.6	買い物等生活の 利便性 32.0	住宅価格、家 賃、広さ 20.6	交通の利便性が 高い 17.5	街並みや街の雰 囲気
	30歳代 (n=51)	通勤・通学時間 56.9	住宅価格、家 賃、広さ 31.4	買い物等生活の 利便性 23.5	子育て環境 15.7	親や子どもの家 に近い
	40歳代 (n=28)	通勤・通学時間 60.7	住宅価格、家 賃、広さ 35.7	買い物等生活の 利便性 32.1	交通の利便性が 高い 28.6	街並みや街の雰 囲気 21.4
	50歳代 (n=11)	通勤・通学時間 63.6	住宅価格、家 賃、広さ 45.5	街並みや街の雰 囲気 36.4	住宅物件が豊富 27.3	買い物等生活の 利便性 18.2
	60歳代 (n=8)	知り合いや友人 がいる 50.0	通勤・通学時間 37.5	買い物等生活の 利便性	自然災害の少な さ	交通の利便性が 高い
	70歳代以上 (n=6)	親や子どもの家 に近い 50.0	その他 33.3	住宅価格、家 賃、広さ 16.7	公園・自然環境	知り合いや友人 がいる
世帯の 型	単身 (n=141)	通勤・通学時間 58.9	買い物等生活の 利便性 25.5	住宅価格、家 賃、広さ 22.0	交通の利便性が 高い 17.0	街並みや街の雰 囲気 14.9
	夫婦のみ (n=53)	通勤・通学時間 54.7	買い物等生活の 利便性 34.0	住宅価格、家 賃、広さ 30.2	交通の利便性が 高い 28.3	街並みや街の雰 囲気 24.5
	親子2世代 (n=16)	通勤・通学時間 37.5	親や子どもの家 に近い 25.0	住宅価格、家 賃、広さ	子育て環境 18.8	公園・自然環境
	親・子・孫3世 代 (n=1)	その他 100.0	住宅価格、家 賃、広さ	住宅物件が豊富 0.0	通勤・通学時間	街並みや街の雰 囲気
	その他 (n=6)	街並みや街の雰 囲気 66.7	買い物等生活の 利便性	通勤・通学時間 50.0	住宅価格、家 賃、広さ 33.3	知り合いや友人 がいる

### 3 定住意向について

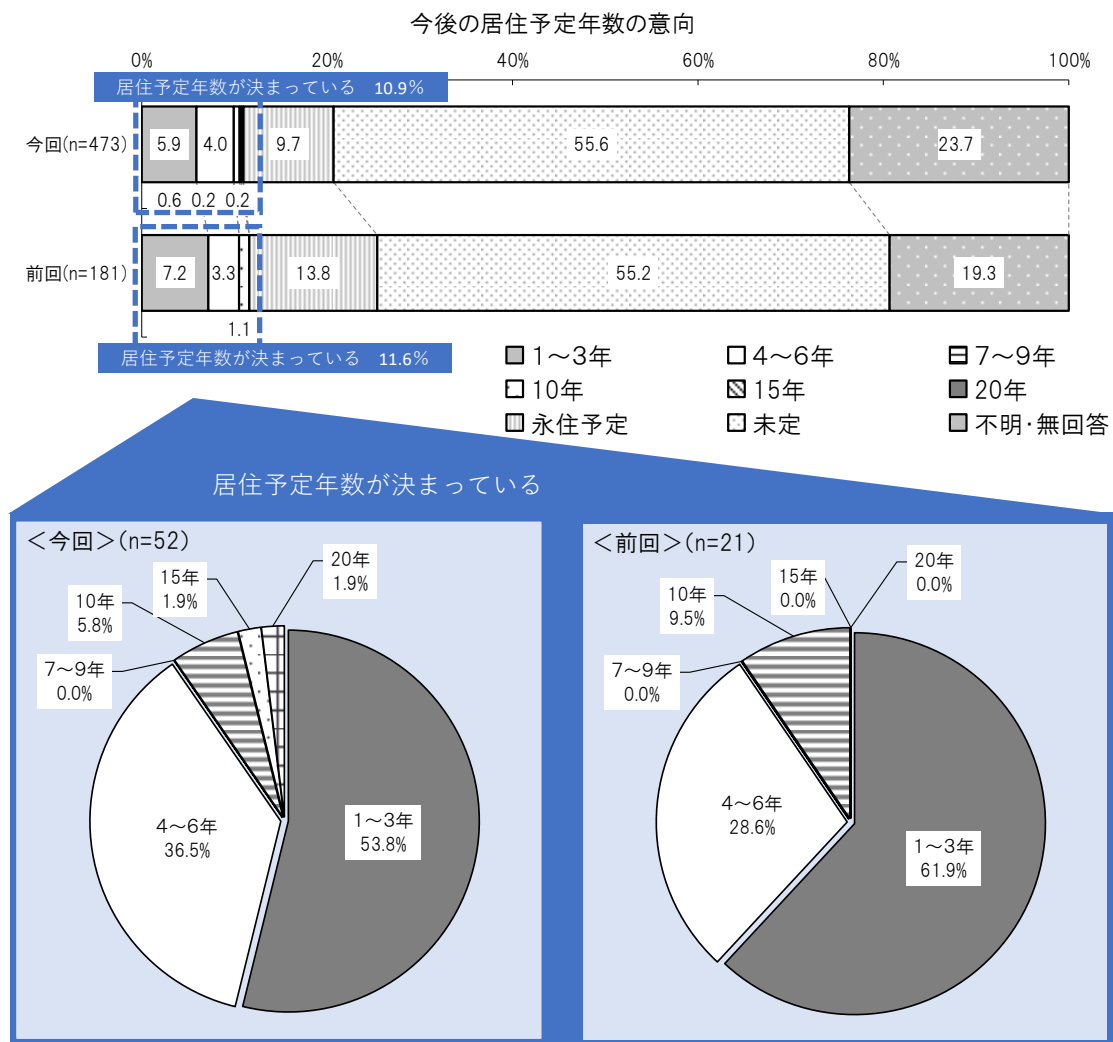
#### (1) 居住年数の意向

問8 これから草津市には何年お住まいの予定ですか。

今後の草津市での居住予定年数については、「未定」が55.6%と最も多く、次いで「居住予定年数が決まっている」(10.9%)、「永住予定」(9.7%)の順となっています。

#### [前回調査との比較]

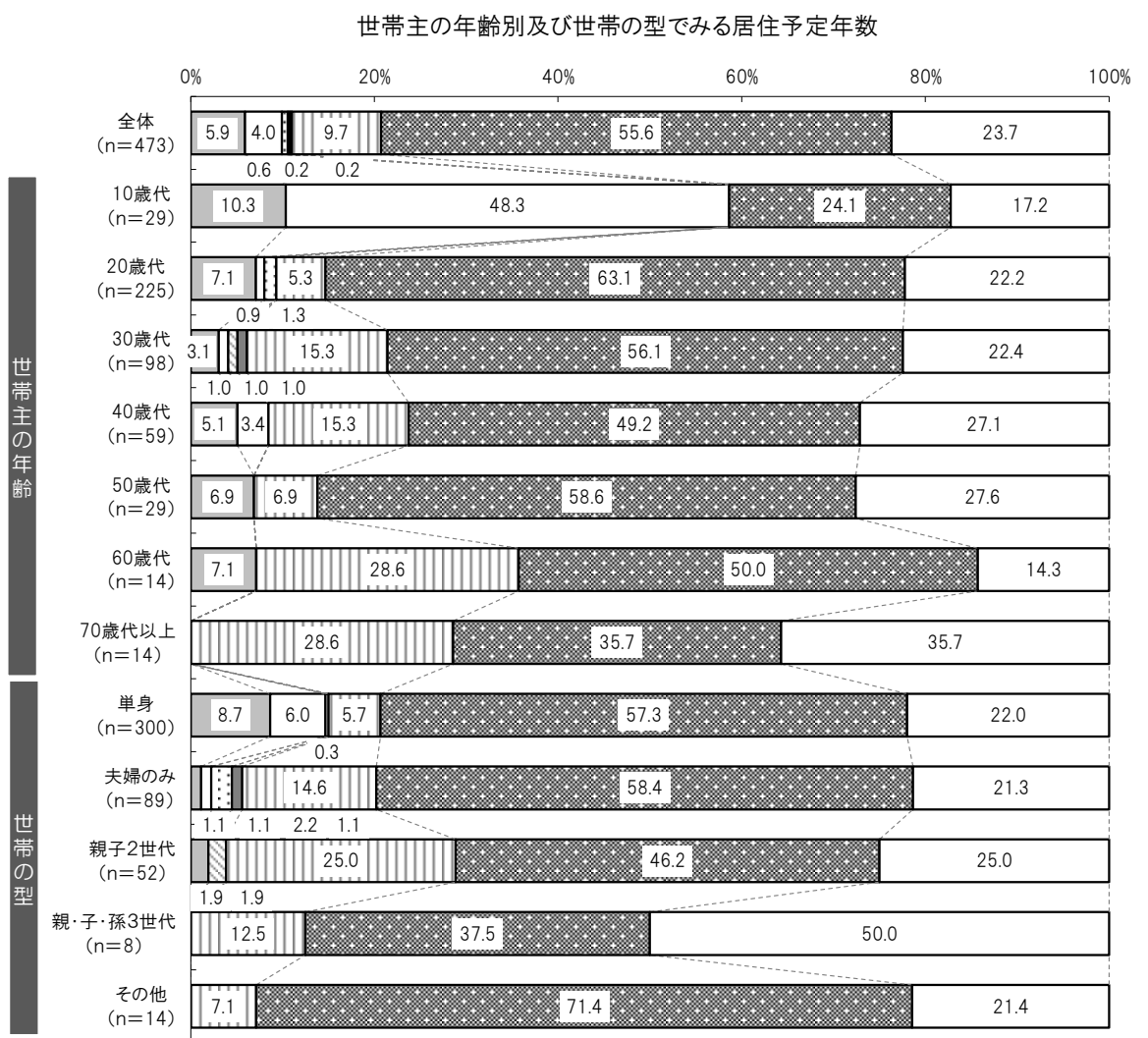
「永住予定」が4.1ポイント減少しています。居住予定年数は「1～3年」は減少し、「4年～6年」・「15年」・「20年」が増加しており、比較的長年居住予定者が増加傾向にあります。



[世帯主の年齢別及び世帯の型でみる居住予定年数]

世帯主の年齢で見ると、「10歳代」では“居住予定年数が決まっている”が約6割となり、その中でも「4～6年」が約5割と最も多くなっています。その他の年代はすべて全体と同じく「未定」が最も多くなっています。また、「永住予定」では「60歳代」と「70歳代以上」（同率28.6%）が最も多く、次いで「30歳代」と「40歳代」（同率15.3%）が他の年代より高くなっています。

世帯の型で見ると、すべての世帯の型で全体と同様に「未定」が最も多くなっています。また、「単身」では短年の「1～3年」、その他の世帯の型では「永住予定」が多く、「親子2世代」が25.0%と最も多くなっています。



□ 1～3年 □ 4～6年 □ 7～9年 □ 10年 □ 15年 ■ 20年 □ 永住予定 ■ 未定 □ 不明・無回答

## 4 今後草津市への期待について

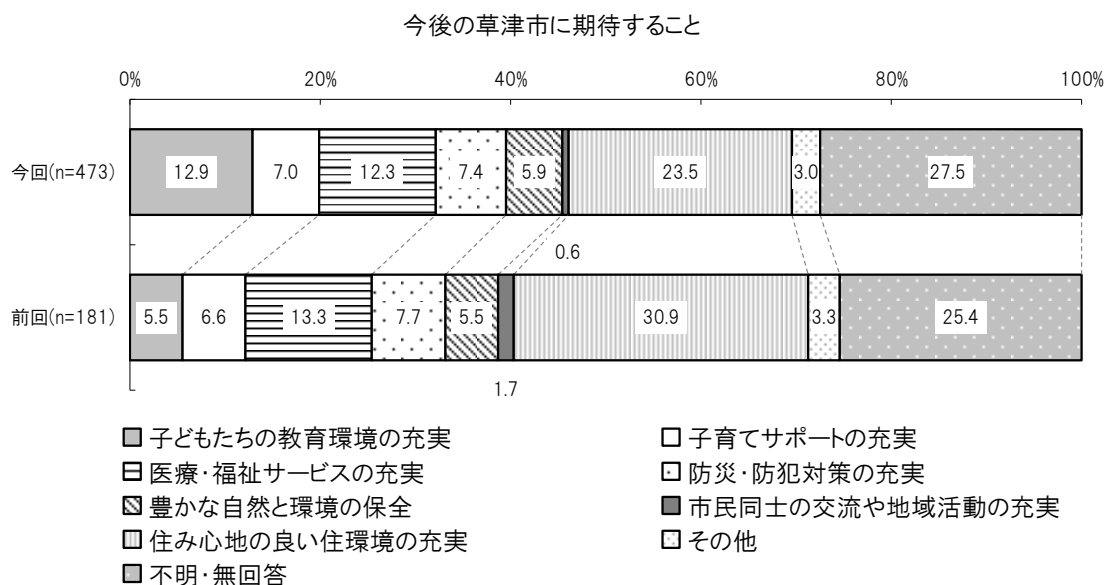
### (1) 草津市への期待の意向

問9 今後草津市に期待することは何ですか。  
あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。

今後草津市に期待することについては、「住み心地の良い住環境の充実」が23.5%と最も多く、次いで「子どもたちの教育環境の充実」(12.9%)、「医療・福祉サービスの充実」(12.3%)、「防災・防犯対策の充実」(7.4%)、「子育てサポートの充実」(7.0%)などの順となっています。

#### [前回調査との比較]

「子どもたちの教育環境の充実」が7.4ポイント増加し、「住み心地の良い住環境の充実」が7.4ポイント減少しています。



■「その他」の意見

住民税の減税
バス路線の充実
南草津駅のまわりに季節を感じれる植物が少なくてさびしい
ゴミ袋の配布制度をやめること
渋滞緩和
市職員の資質向上
ド田舎なので、もっと店を増やしてほしい。ゴミも都会は分別しないし…
歩行者の安全
ゴミ袋高い
カラオケ店を岡本町の周辺に作ってほしい
外国人が住みやすくしてほしい
街の発展
ゴミ袋制度の改善、不便なので
交通・行政
道をキレイにしてほしい
自転車用通路
税が安いとありがたい

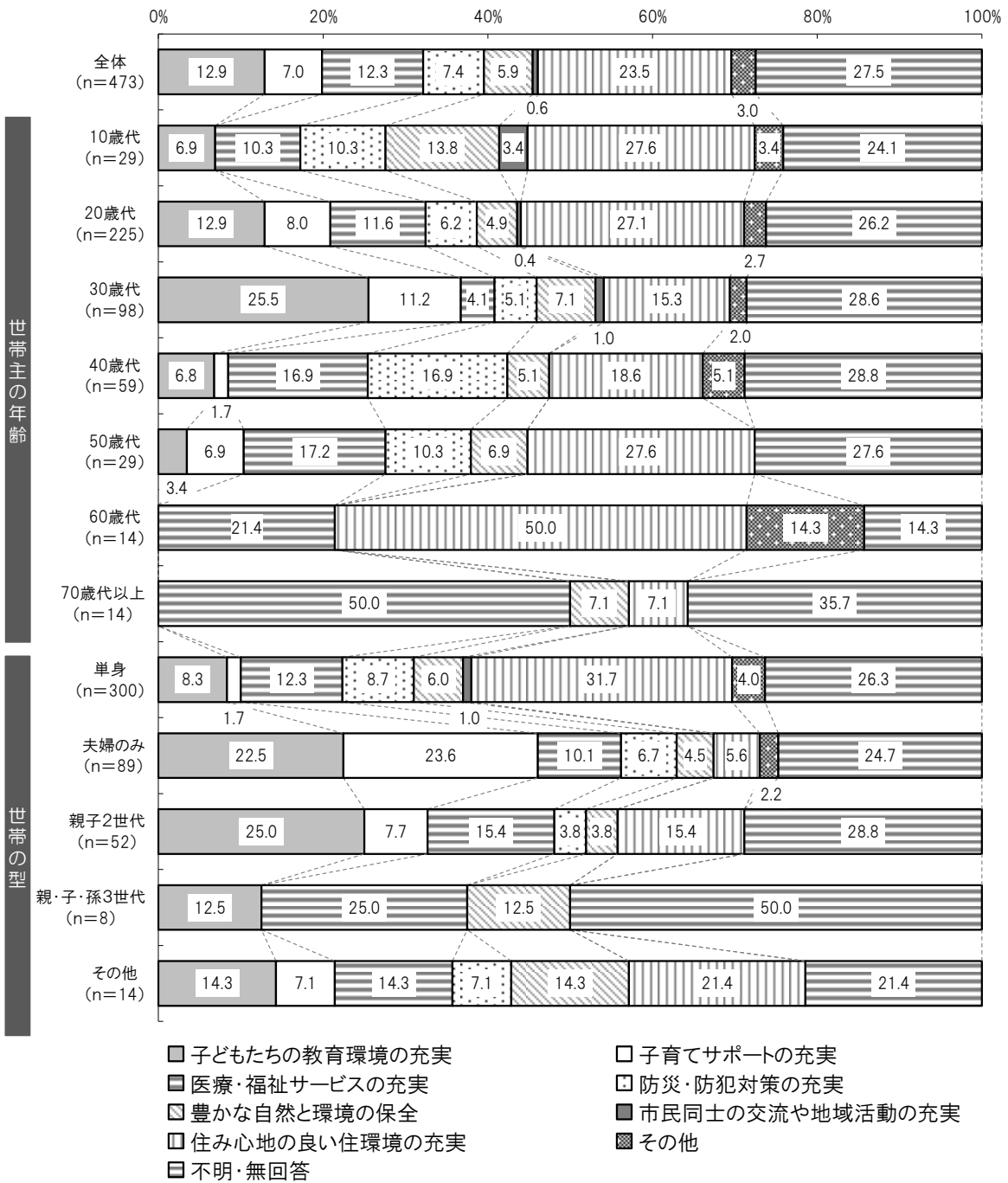
[世帯主の年齢別及び世帯の型でみる今後草津市へ期待すること]

世帯主の年齢で見ると、ほとんどの年代で「住み心地の良い住環境の充実」が多くなっていますが、「30歳代」では「子どもたちの教育環境の充実」(25.5%)が多くなっています。また、「40歳代」以上では「医療・福祉サービスの充実」が多くなっています。

世帯の型で見ると、「単身」と「その他」では「住み心地の良い住環境の充実」、「夫婦のみ」では「子育てサポートの充実」、「親子2世代」では「子どもたちの教育環境の充実」、「親・子・孫3世代」では「医療・福祉サービスの充実」が最も多くなっています。また、「夫婦のみ」では「子どもたちの教育環境の充実」も多くなっています。



世帯主の年齢別及び世帯の型でみる今後草津市に期待すること



## 5 調査結果のまとめ

### 転入世帯の状況について

- 世帯主の年齢については、「20 歳代」が 225 人（47.6%）と約半数を占めています。次いで「30 歳代」（98 人 20.7%）、「40 歳代」（59 人 12.5%）となっています。「10 歳代」（29 人 6.1%）と合わせると、「30 歳代」以下の年齢では 74.4%、「40 歳代」以下まで含めると 86.9%となり、若い世代を中心とした転入状況といえます。
- 世帯主の年齢と世帯の型については、全体の 63.4%が「単身」世帯となっており、「10 歳代」（93.1%）、「20 歳代」（72.4%）、「40 歳代」（64.4%）で「単身」世帯の比率が高くなっています。「30 歳代」や「50 歳代」以降においても「単身」世帯が最も多いですが 5 割以下となり、「夫婦のみ」世帯や「親子 2 世代」世帯が多くなっています。
- 同居の 18 歳未満の子どもがいる世帯は、24 世帯となり全転入世帯の約 5%になっています。また、同居の 65 歳以上の人がいる世帯は 12 世帯となり全転入世帯の約 2.5%となっています。

### 転入の状況について

- 転入先の居住地区（小学校区）については、「わからない」と回答した方が 25.2%と最も多く、また、回答されたすべての小学校区が 10%以下で大きな違いがないことから、居住地区として小学校区を意識した転入はみられない状況といえます。ただし、世帯主の年齢が「50 歳代」以降の年代では「志津小学校区」の回答が約 2 割となっています。
- 転入前の居住地については、県内か県外でみると「県内」が 37.2%、「県外」が 59.8%と県外が多くなっており、特に「10 歳代」、「60 歳代」、「70 歳代以上」で「県外」の割合が多くなっています。「県外」では「京都府」、「大阪府」、「兵庫県」などの近県が約 4 割程度を占めており、前回と比較して「京都府」がやや増加傾向にあります。
- 「県内」の内訳では、「大津市」が 3 割を超えており、「栗東市」、「守山市」を合わせると約 6 割になっていますが、「大津市」からの転入は前回と比較して減少しています。
- 転入のきっかけについては、「仕事上の都合」が半数を超えており、世帯主の年齢が「20 歳代」（64.9%）と「40 歳代」（66.1%）が多くなっています。また、「家庭の都合（結婚、親の介護など）」は約 2 割となっており、「30 歳代」（29.6%）が比較的多くなっています。定住につながると思われる「住宅の都合（広さ、持ち家の購入など）」をきっかけにした転入は約 1 割となっています。

- 転入先の検討については、「最初から草津市に決めていたので、他は検討しなかった」と「草津市に住むしかなかった」を合わせると6割を超えています。「他の市区町村も探したが、草津市に決めた」は12.1%となっており、世帯主の年齢が「30歳代」(19.4%)、「夫婦のみ」世帯(23.6%)が多くなっています。
- 転入先として「他の市区町村も探したが、草津市に決めた」(57世帯 12.7%)と「最初から草津市に決めていたので、他は検討しなかった」(163世帯 34.5%)を合わせた220世帯(46.6%)における、転入の決め手となった理由は、第1位が「通勤・通学時間」(55.9%)、次いで「買い物等生活の利便性」(27.3%)、「住宅価格、家賃、広さ」(24.1%)、「交通の利便性が高い」(19.1%)の順となっており、「通勤・通学時間」と「交通の利便性が高い」が上位に挙がっていることから、「通勤・通学時間」、「交通の利便性が高い」ことが本市の人口増加等の優位性を示していることがわかります。一方で「街並みや街の雰囲気」、「親や子どもの家に近い」、「知り合いや友人がいる」についても比較的多いことから、「通勤・通学時間」、「交通の利便性が高い」などの交通の便がいいというだけではなく、定住を視野に入れた転入もうかがわれます。

## 定住意向及び今後草津市に期待することについて

- 今後の定住意向については、「未定」が半数を超えており、“居住予定年数が決まっている”と「永住予定」がそれぞれおよそ1割となっています。
- 世帯主の年齢では「30歳代」、「40歳代」、「60歳代」、「70歳代以上」、世帯の型では「夫婦のみ」世帯と「親子2世代」世帯で「永住予定」がやや多い傾向がみられることから、「永住予定」対象者が今後草津市に期待することに対する取組を積極的に進める必要があります。
- 今後草津市に期待することについては、第1位が「住み心地の良い住環境の充実」(23.5%)、次いで「子どもたちの教育環境の充実」(12.9%)、「医療・福祉サービスの充実」(12.3%)、「防災・防犯対策の充実」(7.4%)、「子育てサポートの充実」(7.0%)などの順となっています。
- 「永住予定」対象者である「30歳代」では「子どもたちの教育環境の充実」(25.5%)と「子育てサポートの充実」(11.2%)に期待しており(合わせて36.7%)、「40歳代」では「医療・福祉サービスの充実」(16.9%)と「防災・防犯対策の充実」(16.9%)を期待しています。また、「夫婦のみ」世帯では「子育てサポートの充実」(23.6%)、「子どもたちの教育環境の充実」(22.5%)に期待しており(合わせて46.1%)、「親子2世代」世帯では「子どもたちの教育環境の充実」(25.0%)と「医療・福祉サービスの充実」(15.4%)が多くなっていることが特徴としてあげられます。

## 転入された方が本市を定住の地として検討するために

- 本市の交通条件をはじめとした大都市圏の結節的位置にある立地特性による優位性を生かすとともに、定住を視野に入れている30歳代・40歳代の夫婦のみ世帯や親子2世代世帯等のニーズである、子育て支援のためのサービスや医療・福祉サービスの充実、安全で「住み心地の良い住環境の充実」を総合的に向上させていくことが大切と考えられます。
- また、今回の転入者の74.4%が30歳代以下の年齢で、そのうちの78.3%が単身者であることから、草津市への愛着を醸成してもらう機会や場所の創出を心掛けたり、20歳代を中心とした若い世代のイメージする「家庭」づくりをサポートするなどの取組を進めることで、若い世代が草津市を定住の地として検討することにつながっていくことが重要と思われれます。

### III 自由記述

---



### III 自由記述一覧

#### 1 自由記述について

##### (1) これからの草津市のまちづくりについてのアイデア・意見など

問 10 問9で回答いただいた期待されていることに対する具体的な内容や、これからの草津市のまちづくりについて、アイデア・意見などがありましたら自由に御記入ください。

市に期待することや、まちづくりについてのアイデア・意見などについて自由記述方式でたずねたところ、48人の方から51件の意見が寄せられました。

分野では「心地よさ」で29件の意見があり、個別の内容では「道路・交通に関すること」が13件と最も多く、次いで、「うるおい・景観に関すること」（7件）、「子ども・子育てに関すること」（6件）などの順となっています。

これからの草津市のまちづくりについて：自由記述		件数
		年齢
「人」		3
教育・青少年	子どもたちに市政や国政への関心、国際人としての教養を身につけさせる教育に力を入れていただきたいと強く希望	30 歳代
	小中学校の学力の維持向上	40 歳代
	教育体験などを行う。	不明
「安心」		9
子ども・子育て	保育所の増設、保育士の待遇改善	20 歳代
	保育園に入りやすくする。	20 歳代
	出生の際のサポートを手厚くしてほしい。	20 歳代
	託児所がどこにあるのかマップ等があると便利	20 歳代
	市長と役所の皆さんに期待します。幼稚園、保育所の数の充実	40 歳代
	教育にも関わるが、子供への給付や、医療費への補助など、生活に安心感を持てる地域であってほしい。	40 歳代
長寿・生きがい	老人介護の充実(医療機関・介護施設情報をわかりやすく、また 入院入所しやすい環境の整備)	70 歳代以上
障害福祉	障がい者年金をもらっているから福祉の充実	40 歳代
防犯・防災	治水	20 歳代

これからの草津市のまちづくりについて：自由記述		件数 年齢
「心地よさ」		29
うるおい・ 景観	草津川の再開発をどんどん進めてほしい。	10 歳代
	公園の遊具を増やしてほしい。	20 歳代
	公園が少ない。子ども自身が興味を持てるような遊具がほしい。	20 歳代
	定期的に草刈り等行ってほしい。道路脇等	30 歳代
	整っており駅前はきれいなのですが、季節を感じれる自然がもう少しあってほしい。	30 歳代
	豊かな自然を造る。	40 歳代
	de 愛ひろば(草津川跡地公園)、あそこはいい。ウォーキングに最適	40 歳代
環境	近所の川の匂いが気になる。	20 歳代
	ゴミ捨てを楽にしてほしい。	30 歳代
	ゴミ分別方法が分かりやすいと思った(パンフレット等)、ゴミ袋チケットが良いと思う。	30 歳代
	ゴミ袋の大きさは大中小と区分して欲しい。また、無料チケットもなくてもいい。	40 歳代
	ゴミ対策	40 歳代
	駅前のたばこコーナーを廃止してほしい。駅に行くたびに煙草の臭さで気が滅入る。	40 歳代
住宅・ 住生活	街灯があまりにも少ないので増やしてほしい。	40 歳代
	長年放置されている土地や廃屋などを有効活用できないか。	40 歳代
	高齢化に向けての住宅環境を整備してほしい。	60 歳代
道路・ 交通	田舎に住んでいてもいいのだけど、交通が不便で車がないと住みにくい町だと思う。	20 歳代
	車を持たない世帯でも通院しやすい仕組みづくり	20 歳代
	交通(バス)は少し不便	20 歳代
	車がないので、バスなど利用しやすくしてほしい。	20 歳代
	子どもたちが安全に伸び伸びと暮らせるように道路整備(歩道の幅を広くしたり、ガードレールを付けたり)してほしい。	30 歳代
	渋滞緩和の為、バイパスの早期開通→交通事故低減	30 歳代
	道の整備	30 歳代
	道が狭くて渋滞が凄いのので、改善を望む。	30 歳代



これからの草津市のまちづくりについて：自由記述		件数 年齢
道路・交通	インフラ整備	30 歳代
	河川・草木を大切にすることも、確かに重要。しかし、道路整備が遅すぎる。特に歩道・路端を早急に高低差・亀裂なく整備すべき。	30 歳代
	(馬場町付近)最寄りのバス停まで徒歩 10 分はかかるので、近くに作ってほしい。	40 歳代
	一日のバスの本数を増やしてほしい。	40 歳代
	もう少し公安委員会と協議の上、案内板の充実をしてほしい。	60 歳代
<b>「活気」</b>		<b>5</b>
商工 観光	カラオケ店を作してほしい。	20 歳代
	コンビニの数を増やしてほしい。	20 歳代
	お店を増やしてほしい。	30 歳代
	買い物等が便利	60 歳代
	海外から来られている方への配慮等(英語標識など)	60 歳代
<b>「行財政」</b>		<b>5</b>
行財政	4～6月に月 1 回でもいいので、転入・転出窓口を土日のどちらかに開けてほしい。	20 歳代
	地図がわかりにくい。土地勘がない方はわからないのでは(大学に来ている外国の留学生も多いのでは)。	30 歳代
	公共施設の充実など	30 歳代
	転入したばかりの人が住みやすい町にしていきたい。	40 歳代
<b>「その他」</b>		<b>1</b>
	自宅のごみを他人が覗いている事がある。	20 歳代



## IV 調査票

---



# IV 調査票

## 草津市に転入される方へ

草津市公認マスコットキャラクター「たび丸」



-アンケート調査御協力をお願い-

この度は、草津市にお住まいいただき、ありがとうございます。本市では、まちづくりの基本となる計画である第6次草津市総合計画の策定のため、転入者の皆様にアンケート調査を実施しております。お忙しいところ誠に恐縮ですが、御協力をお願いいたします。

草津市長 橋川 渉

問1 世帯主様（世帯を代表される方）の年齢をお聞きます。あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。

1 10歳代	2 20歳代	3 30歳代	4 40歳代
5 50歳代	6 60歳代	7 70歳代以上	

問2 世帯の型は次のどれですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。また、3、4、5を選択した人は、18歳未満の子ども、同居の高齢者の有無をお答えください。

1 単身	2 夫婦のみ
3 親子2世代	4 親・子・孫3世代
5 その他（ ）	
3、4、5を選択した人はそれぞれ（はい・いいえ）のどちらかに○印をつけてください。	18歳未満の子どもはいますか（はい・いいえ）
	65歳以上の方はいますか（はい・いいえ）

問3 お住まいのある小学校区はどちらですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。

1 志津小学校区	2 志津南小学校区	3 草津小学校区
4 草津第二小学校区	5 渋川小学校区	6 矢倉小学校区
7 老上小学校区	8 老上西小学校区	9 玉川小学校区
10 南笠東小学校区	11 山田小学校区	12 笠縫小学校区
13 笠縫東小学校区	14 常盤小学校区	
15 わからない（町名または町内会名_____）		

問4 草津市に転入する前はどちらにお住まいでしたか。

・日本の場合

都道府県	市・区・町・村
------	---------

・外国の場合（国名を記入ください）

問5 草津市へ転入した最もおおきなきっかけは、どのようなことですか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1 仕事上の都合（就職・転勤・転職・退職など）	2 学校上の都合（入学・進学・転校など）
3 家庭の都合（結婚、親の介護など）	4 子育て環境の向上
5 健康上の都合（施設入所、通院、病気療養など）	6 住宅の都合（広さ、持ち家の購入など）
7 その他（ ）	

問6 転入先として草津市以外の市・区・町・村も検討されましたか。  
あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。  
また、検討した市・区・町・村について御記入ください。

1	他の市区町村も探したが、草津市に決めた	(	都道府県	市・区・町・村)
2	最初から草津市に決めていたので、他は検討しなかった			
3	草津市に住むしかなかった(社宅が草津市にある、同居する家族が住んでいる等)			

問7 問6で「1」「2」を回答した人にお聞きします。草津市への転入の決め手はどのようなことですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○印をつけてください。

1	住宅価格、家賃、広さ	2	住宅物件が豊富	3	通勤・通学時間
4	街並みや街の雰囲気	5	買い物等生活の利便性	6	公園・自然環境
7	医療・福祉	8	子育て環境	9	保育園等の整備状況
10	教育環境	11	文化・芸術活動	12	スポーツ環境
13	治安	14	道路などの都市基盤	15	自然災害の少なさ
16	知り合いや友人がいる	17	親や子どもの家に近い	18	交通の利便性が高い
19	働く場所が多い				
20	その他	(		)	

問8 これから草津市には何年お住まいの予定ですか。

1	( )年	2	永住予定	3	未定
---	------	---	------	---	----

問9 今後草津市に期待することは何ですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。

1	子どもたちの教育環境の充実	2	子育てサポートの充実	3	医療・福祉サービスの充実
4	防災・防犯対策の充実	5	豊かな自然と環境の保全	6	市民同士の交流や地域活動の充実
7	住み心地の良い住環境の充実				
8	その他	(		)	

問10 問9で回答いただいた期待されていることに対する具体的な内容や、これからの草津市のまちづくりについて、アイデア・意見などがありましたら自由に御記入ください。

質問はこれで終わりです。  
お忙しいところ御協力頂き誠にありがとうございました。  
回答いただいた用紙は、指定の回収箱へ入れてください。



(問い合わせ先)

草津市 総合政策部 企画調整課 電話(077)561-2320(直通)

